

事前評価個表

整理番号	14
------	----

地域（地区）名	<small>せんだいがわ</small> 千代川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鳥取県	対象市町村	<small>とっとり</small> 鳥取市ほか4町
事業実施期間	R4年度～R8年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、鳥取県東部に位置しており、南部には岡山県との県境となる<small>おうぎのせん</small>扇ノ山（1,310m）等の中国山地が連なり、この山地を源とする千代川が中央部を北上して日本海に注ぎ、下流には鳥取平野が広がり、河口には鳥取砂丘を形成している。総土地面積 152 千 ha のうち森林面積は 120 千 ha（森林率 79%）であり、県内で最も森林率が高い地域である。また、森林面積の 49%が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定されており、特に千代川上流の森林は水源かん養保安林に指定されているものが多く、重要な水源地域となっており、森林の有する多面的機能の発揮が求められている。</p> <p>本地区の南部に位置する<small>やず</small>八頭郡は、古くから林業地としての歴史があり、そのうち<small>ちずちよう</small>智頭町及び<small>わかさちよう</small>若桜町においては、スギを中心とする人工造林が進められていたため、林齢の高い森林が多く、人工林 1ha 当たりの蓄積量は 451 m³と県平均より高くなっている。多くの人工林が木材として利用可能な時期を迎えつつあるため、間伐による適切な森林整備の実施に加え、高齢級の人工林を皆伐し再生林を行うことで森林の若返りを図り、適切な保育を行うことにより、持続可能な森林資源の循環利用や水源<small>かん</small>涵養機能等の森林の有する多面的機能を高度に発揮することが重要な課題となっている。</p> <p>このため、これらの地域の課題等に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：7,060ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：2,774m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：6,825,013 千円（税抜き 6,204,557 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.57</p> <p>（総便益（B）=31,365,471 千円、総費用（C）=8,796,572 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林の有する多面的機能の持続的発揮及び持続可能な森林資源の循環利用の観点から必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくりによる水源涵養、国土保全等の森林の公益的機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産を図る事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業




都道府県名：鳥取県

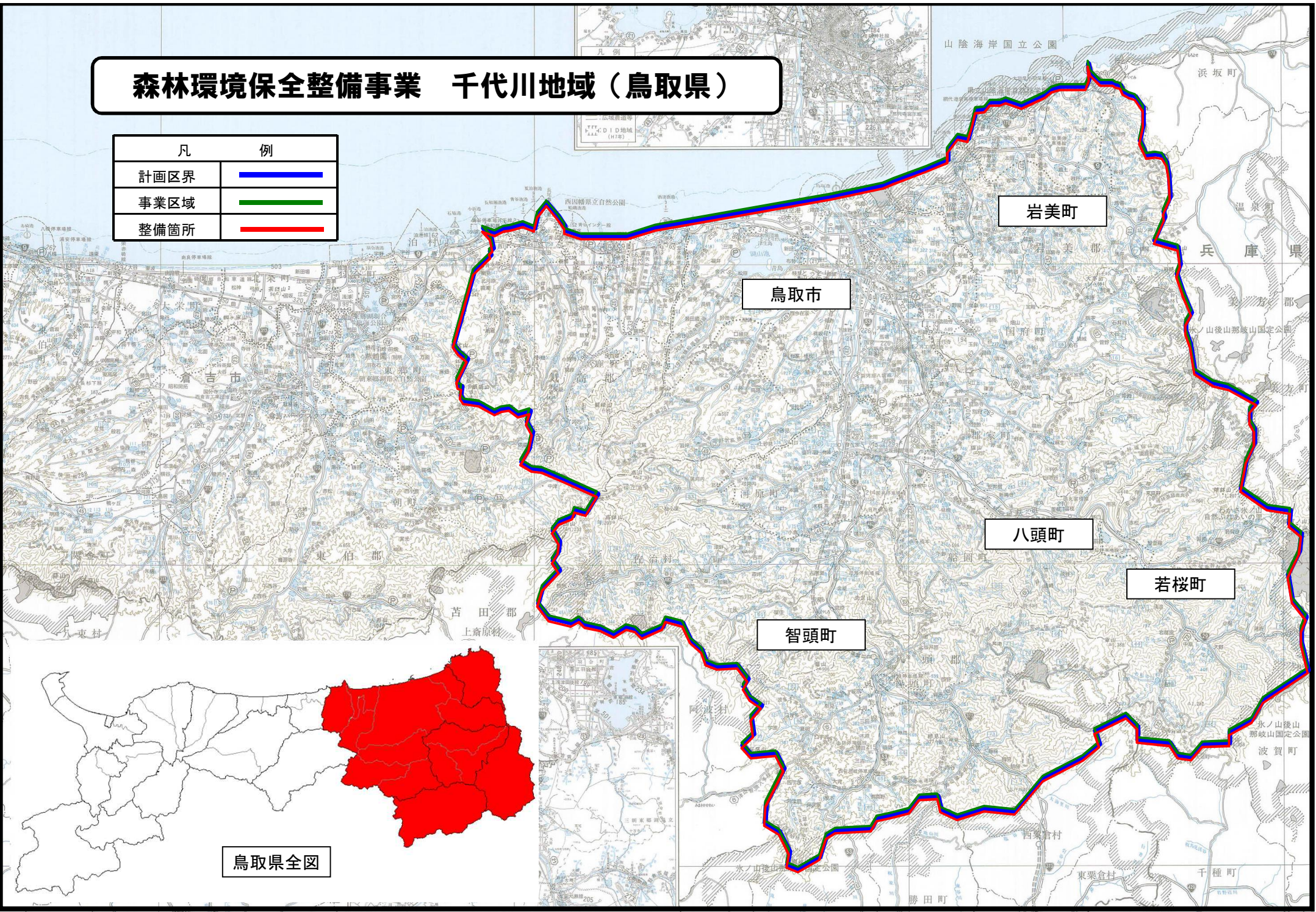
地域(地区)名：千代川^{せんだいがわ}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,245,758	
	流域貯水便益	2,495,883	
	水質浄化便益	9,186,422	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,315,544	
環境保全便益	炭素固定便益	2,386,023	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	31,026	
	木材利用増進便益	124,828	
	木材生産確保・増進便益	1,670,103	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,827	
	森林管理等経費縮減便益	5,507	
	森林整備促進便益	900,550	
総 便 益 (B)		31,365,471	
総 費 用 (C)		8,796,572	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,365,471}{8,796,572} = 3.57$		

森林環境保全整備事業 千代川地域（鳥取県）

凡	例
計画区界	
事業区域	
整備箇所	



鳥取県全図